

地下鉄現場所長の『不安全行動との闘い』

＜低減の秘策は動機づけと疑似体験にあり＞



全産業の労働災害死亡者数は、昭和36年の6712人をピークに減少し、労働安全衛生法施行(S47.10)後の昭和50年に3000人台、昭和56年に2000人台、平成10年から1000人台に減少したものの1400人前後の尊い命が失われている現状があります。4日以上休業災害は10万人/年を超え、毎日300人を超える人が被災しています。そして労働災害の90%以上は、不安全行動に起因する災害です。人間は、間違い・不注意・錯覚・横着・近道行為等を起こす行動特性を持っています。不安全行動を撲滅することは不可能ですが、90%以上低減することは可能です。地下鉄現場所長が体験した幾多の事例を基に現地で活用できる不安全行動の低減策を伝授します。

講演内容

＜心得三カ条＞

- 1.感謝
- 2.相手の立場
- 3.誠実

気づきは疑似体験にあり
動機づけキーワード

プロフィール

串田 修一（くしだ しゅういち）
1955年 神奈川県生まれ
1977年 準大手ゼネコン入社
2008年 エムアンドエス研究所設立
動機づけ・人材育成・意識改善クリエイター
労働安全コンサルタント、異端児講演講師
職長・安全衛生責任者教育トレーナー
中小企業(100名クラス)社員教育中

モチベーション&セーフティ

エムアンドエス研究所 M&S
所長 串田 修一
携帯 090-4828-0888

住所 千葉県船橋市前原東 5-16-6
TEL・FAX 047-493-1096
URL <http://mandskenkyusyo.com>